

第8回中部ブロック居住支援協議会に係る勉強会
豊田市社会福祉協議会の
居住支援の取組みについて

令和2年11月10日

社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会

居住支援の取組み状況

○どのような方を支援しているか

- ・生活困窮者 ・高齢者 ・障がい者 ・外国人 ・ひとり親
- ・これらの複合的な世帯など

○支援の状況

- ・豊田市社会福祉協議会としては「居住支援相談」を特に設けているわけではないが、例えば、
 - ★生活困窮者自立支援事業(担当:くらし応援課)
 - ★市内5か所の「福祉の相談窓口」(担当:共生推進課)
 - ・・・などの相談の「一環」として居住支援にもしばしば取り組んでいる

相談ケースにおける対応の流れ（例）

○対象者Aさんのケース

- ・相談概要:65歳の男性(独居)
年金生活。

負債滞納の支払がうまくできないため、家計収支の把握と支払いの道筋を一緒に考えて欲しい。

- ・居住支援の部分:問題点

- ①家賃が高く(70,000円/月)2か月滞納
- ②アパートの2階に居住。自立歩行困難のため生活しづらい

- ・解決に向けたプロセス:

歩行困難でも生活しやすい環境・地域探し

年金で無理なく生活可能な賃貸住宅の確保

保証人の確保が難しいため保証会社と契約可能住居探し

緊急連絡先の確保

担当者の「実感」

- 住宅(社宅、民間賃貸、公営)を失いそうな場面について
- 新しい住宅を探す場面について
- 連携先(大家、仲介、行政、福祉等)の協力体制について
- 心がけていること
- 「こんなしくみがあったらうれしい」と思うこと